

平成 1 0 年 3 月期中間決算見通し及び中間配当について

1. 中間決算見通し

当上半期のわが国の経済は、好調な輸出に支えられ拡大してきたものの、消費税率引き上げ影響の長期化、東南アジアの景気失速懸念など、先行き不透明な様相を見せはじめております。

鉄鋼業を取り巻く環境におきましても、内需・輸出ともに堅調に推移してまいりましたが、足元での薄板等の在庫増加傾向に加え、東南アジアを中心とする輸出環境の悪化も懸念され、先行きの楽観を許さない状況にあります。

また、総合エンジニアリング部門におきましても、国内・海外市場ともに、競争は依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社は当期を初年度とする「中期経営計画」を策定し、確固たる収益基盤の確立と企業体力の充実に向けて、全社的な取り組みを開始いたしました。

当中間期の損益状況につきましては、年初の見通しを上回る 110 億円程度の経常利益及び当期利益を確保できる見通しであります。

また、下半期につきましては、経営環境による好転は期待し難い状況にあると考えておりますが、コスト削減を含めた、たゆまぬ収益改善に努めてまいり所存であります。

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
当 中 間 期 見 通 し	5 , 2 0 0 億円	1 1 0 億円	1 1 0 億円
(参 考) 前 年 中 間 期 実 績	5 , 5 5 3 億円	9 6 億円	7 1 億円

2. 中間配当について

当社は、「事業構造の再構築」の実行により、平成 9 年 3 月期におきまして復配を達成することができました。

当中間期におきましても、当期利益で 110 億円と、配当できる利益水準を確保できる見通しを得ましたことから、株主の皆様のご期待に応えるべく、中間配当につきましては、本日の取締役会において、1 株につき 1.5 円とする方針を確認いたしましたので、お知らせいたします。

3. 平成 1 0 年 3 月期業績見通し

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
単 独 決 算 見 通 し	1 1 , 3 0 0 億円	3 5 0 億円	1 8 0 億円
連 結 決 算 見 通 し	1 8 , 7 0 0 億円	6 3 0 億円	2 2 0 億円

— 以 上 —

本件に関するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

N K K 秘書部広報企画室

T E L 0 3 - 3 2 1 7 - 2 1 4 0